

令和4年12月19日付【建設工業新聞】
〈新しい時代、下水道を魅力ある職業に〉
水コン協 会長 間山 一典

新しい時代、下水道を魅力ある職業に

公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会

会長 間山 一典



下水道は、地域の安全で衛生的な環境を守る重要な社会基盤施設です。これを次世代に、健全な状態で引き継いでいかなければなりません。普及のための整備は概成を迎えつつありますが、今後は地域の実情に応じて、老朽化対策、災害対策など、持続のための事業展開が求められます。

水コンサルタントの使命（パーパス）は、水システムを通じて地域・都市を豊かにすることです。協会の会員である水コンサルタントが、地域のニーズに耳を傾け、その地域に最適な上下水道システム・水環境を提案し、その地にふさわしい地域づくり・都市づくりに寄与できるよう、多様な活動を支援することが当協会の存在価値です。

公衆衛生の役割に加え、下水道は、資源循環や創エネ・再エネなどのポテンシャルを持っています。国が推進するカーボンニュートラルや農業分野への下水汚泥利

用、再生可能エネルギーなどに貢献できる、新たな役割が生まれようとしています。また、水道行政が国土交通省へ移管されることは、健全な水循環への取り組みが進むものと期待しています。すでに流域治水への転換が始まっていますが、取排水口位置の適正化など、河川、下水、水道などが連携した事業も考えられます。新しい時代の幕開けを予感しています。

コンサルタントにとって人材（財）が経営資産であり、生命線です。人材確保のためには、下水道が、魅力ある職業、将来に向けて希望のある職業であることが必要条件です。カーボンニュートラルをはじめとする社会課題の解決は簡単ではありません。しかし、困難な目標に立ち向かうことでイノベーションが生まれると言います。全国上下水道コンサルタント協会は、下水道の持続に貢献するとともに、新たな取り組み、そして下水道の魅力の発信に貢献してまいります。